



令和年7月号
かすみ台第三保育園

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。

6月4日に歯科健診がありました。関口歯科医院さんからは皆さん歯がきれいですね。と評価

を頂きました。保護者の皆さま仕上げ磨きありがとうございます。

また6月9日には歯科衛生士さんによる歯磨き指導がありました。

虫歯予防には①寝る前に歯磨きをすること（仕上げ磨きよろしくお願ひいたします。）

②おやつは時間を決めて食べること③好き嫌いなく食べることなどのお話をありました。

子どもたちも良くお話を聞けていました。

＜生命（いのち）の安全教育について＞

プールの開始に伴い「生命（いのち）の安全教育」じぶんのからだ・じぶんだけのだいじなところという教材を使用しいてお話をさせていただきました。

対象は4歳児クラス（ビデオ5分弱）、5歳児クラス（ビデオ10分弱）です。

生命（いのち）の安全教育の推進

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼすことから、その根絶に向けた取り組みを強化していく必要があり、令和2年6月に政府の「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議において、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」が決定されました。この方針を踏まえ、子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の学校において「生命（いのち）の教育」を推薦することになりました。

生命（いのち）の安全教育の目的は、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないようにするために、各学校において生命（いのち）の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考え方や、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身に付けること。

対象は幼児（就学前の教育・保育）、小学校、中学校、高校、大学等です。

発達段階にはねらいがあります。

幼児期のねらい（概要）は「幼児の発達段階に応じて自分と相手の体を大切にできるようになっていく」です。

※①生命（いのち）の尊さや素晴らしさ、②自分を尊重し大事にすること（被害者にならない）③相手を尊重し、大事にすること（加害者にならない）④一人一人が大事な存在であること（傍観者にならない）というイメージを発信し続けることが重要です。

※生命（いのち）の安全教育には「同意」の考え方が重要な要素として含まれています。

日々の保育の中で子どもたちが自分自身もお友達も大切にできるよう、からだも心も大切にしていけるような関わりができるようにしていきたいと思います。